



Release

フランクフルト・アム・マイン

2017年10月26日

ドイツ銀行、2017年第3四半期に6億4,900万ユーロの純利益を計上

ドイツ銀行CEOのジョン・クライアンは次のように述べています。「厳しい収益環境が続く中、ドイツ国内における当行とポストバンクの統合計画や、アセット・マネジメント事業の新規株式公開（IPO）など、当行は主要なイニシアティブにおいて大きく前進しました。当行の取り組みの成果は、今後の四半期そして年度において着実に現れてくるものと確信しています。」

2017年第3四半期および年初からの9カ月間の両期間において、**当行の利益は大幅に増加しました。**第3四半期においては、税引前利益が前年同四半期から51%増加し、9億3,300万ユーロとなり、同時に純利益は2倍以上増加して、6億4,900万ユーロとなりました。2017年年初からの9カ月間においては、税引前利益が64%増加して26億ユーロとなり、純利益は3倍以上増加し、17億ユーロとなりました。

厳しい市場環境および金利環境が続き、収益にマイナスの影響を与えました。2017年第3四半期の純収益は、前年同四半期から10%（為替レートの変動を調整したベースでは7%）減少し、68億ユーロとなりました。低いボラティリティおよび低金利が続く中、前年同四半期において活発であった顧客取引は低迷しました。

コスト削減が利益の増加を後押ししました。2017年第3四半期の利息以外の費用は、前年同四半期から14%（為替レートの変動を調整したベースでは11%）減少し、57億ユーロとなりました。再編および退職費用は大幅に減少し、訴訟費用も多くの訴訟事案を終結させたにもかかわらず大幅に減少、引当金の範囲内に抑えました。調整済コストは、主に2016年に廃止された非中核事業部門における計上がないことや専門家サービス報酬の減少を受けて、前年同四半期から6%（為替レートの変動を調整したベースでは3%）減少しました。本第3四半期までの本年度における変動報酬の計上額は、前年同期を上回りました。総従業員数は、2016年第3四半期末から約4,000人*削減されました。

高い信用の質を維持しました。2017年第3四半期の信用リスク引当金繰入額は、前年同四半期から44%減少し、1億8,400万ユーロでした。これはコーポレート・アンド・インベストメント・バンクにおける広範な改善と、プライベート・アンド・コマーシャル・バンクが高い信用の質を維持していることによるものです。

当行の資本比率は引き続き高水準を維持しています。2017年第3四半期末現在の普通株式等 Tier 1 (CET 1) 資本比率**（完全適用ベース）は、2017年第2四半期末時点の14.1%に対し、13.8%でした。CET 1 資本に対する純利益によるプラスの影響は、配当金支払いの要請や為替レートの変動その他の影響により相殺されました。レバレッジ比率**は、2017年第2四半期末と同水準の3.8%でした。

2017年年初からの9カ月

2017年年初からの9カ月の収益は、前年同期から10%（債務評価調整および当行債務に関するスプレッドを調整したベースでは5.5%）減少し、207億ユーロでした。利息以外の費用は、前年同期から27億ユーロ、率にして13%（為替レートの変動を調整したベースでは12%）減少し、177億ユ

一ロでした。調整済コストは、前年同期から6%（為替レート変動を調整したベースでは4%）減少し、175億ユーロでした。信用リスク引当金繰入額は、前年同期から4億9,500万ユーロ、率にして56%減少し、3億9,600万ユーロでした。CET 1比率**は、2016年第3四半期末の11.1%に対して13.8%となり、レバレッジ比率**は、2016年第3四半期末の3.5%から3.8%に改善されました。

2017年第3四半期の部門別の業績

ユーポレート・アンド・インベストメント・バンク (CIB) : 2017年第3四半期の収益は、前年同四半期から23%（為替レートの変動を調整したベースでは21%）減少し、35億ユーロとなりました。この減収は、前年同四半期にはブレイグジットに係る国民投票後に高水準の顧客取引がみられたのに対し、顧客取引が低迷しボラティリティが低下したことによるものです。債券および為替（FIC）は、36%の減収となりました。現在はファイナンスに計上されている関連収益を含めた従前の部門別報告ベースでは、FICの収益は前年同四半期から24%減少したことになります。株式セールス/トレーディングおよびオリジネーションとアドバイザーの収益も前年同四半期から減少しました。一方、グローバル・トランザクション・バンキング（GTB）の収益は、前年同四半期からは減少したものの、2017年第2四半期と比べるとほぼ同水準でした。GTBにおける前年同四半期からの減収は、事業基盤の戦略的な縮小などを反映したものです。CIBは、2017年前半に発表した再編において大きな前進を遂げました。

プライベート・アンド・コマーシャル・バンク (PCB) : 2017年第3四半期の収益は、コンカルデイス GmbH の持分売却による一時的な利益が発生したことなどにより、前年同四半期から3%増加し、26億ユーロとなりましたが、2016年に売却された個人顧客サービスユニットからの収益がなくなったことにより一部相殺されました。これらの項目を調整したベースでは、PCBの収益は、手数料収入の増加により低金利の影響が軽減されたため、前年同四半期とほぼ同水準を維持しました。ホームマーケットであるドイツにおけるドイツ・ポストバンク AG とドイチェ・バンク・プライベート・ウント・ゲシェフツクンデン AG の合併は、予定通りに進んでおり、この合併により約2,000万の顧客と2つの有力ブランドを有する市場リーダーが誕生することになります。3月に発表した通り、当行は2022年以降、約9億ユーロの年間のシナジー効果を見込んでいます。サル・オープンハイムの事業は、当行に完全に統合される予定です。（ドイツ・ポストバンク AG とドイチェ・バンク・プライベート・ウント・ゲシェフツクンデン AG の合併に関する詳細は、別に公表するリリースをご参照ください。）

ドイチェ・アセット・マネジメント : 2017年第3四半期の収益は、不動産ファンドに関連した一時的な計上項目などが、アビー・ライフの収益がなくなったことや、運用報酬および取引手数料が減少したことにより相殺され、前年同四半期と同水準の6億2,800万ユーロ***となりました。2017年第3四半期における新規純資金の流入は40億ユーロを計上し、2017年年初からの9ヶ月間の合計は140億ユーロに上りました。運用資産は、為替レートの変動が市場の有利な動向や純資金流入によるプラスの影響の多くの部分を相殺し、2016年末から50億ユーロ増加の7,110億ユーロとなりました。ドイチェ・アセット・マネジメントの一部株式の新規公開（IPO）に向けた準備は順調に進んでおり、公表している24カ月の期間内に実施されることが見込まれています。IPOに先立つ調整措置も滞りなく進んでいます。

* 常勤相当

** CRR/CRD 4 完全適用ベース

*** アビー・ライフについて調整したベース

グループ業績

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2017年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減 (2016年第3四半期比)	増減 (2017年第2四半期比)
純収益	6,776	7,493	(717)	161
信用リスク引当金繰入額	(184)	(327)	143	(105)
利息以外の費用	(5,660)	(6,547)	888	55
税引前利益	933	619	314	110
純利益	649	278	371	183
RWA(単位:十億ユーロ)	355	385	(30)	0
1株当たり有形純資産(単位:ユーロ)	27.18	33.50	(6.32)	(0.06)

利息以外の費用

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2017年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減 (2016年第3四半期比)	増減 (2017年第2四半期比)
利息以外の費用	(5,660)	(6,547)	888	55
内:				
のれん/無形資産の減損	0	49	(49)	6
訴訟費用	(140)	(501)	362	(166)
保険業務に係る費用	(0)	(167)	167	(0)
再編および退職費用	(7)	(76)	69	88
調整済コスト	(5,513)	(5,852)	339	127
費用/収益比率	84%	87%	(4)ppt	(3)ppt
報酬比率	41%	39%	3ppt	(3)ppt

自己資本およびレバレッジに関する事項

特に表示がない限り 単位:十億ユーロ	2017年9月30日	2017年6月30日 ¹	2016年9月30日
普通株式等 Tier 1 資本比率(CRR/CRD4 完全適用ベース)	13.8%	14.1%	11.1%
リスク・ウェイトド・アセット(CRR/CRD4 完全適用ベース)	355	355	385
資産合計(IFRS)	1,521	1,569	1,689
CRD4 レバレッジ・エクスポージャー(CRR/CRD4 完全適用ベース)	1,420	1,443	1,354
Tier 1 資本	53.7	54.7	47.4
レバレッジ比率(CRR/CRD4 完全適用ベース)	3.8%	3.8%	3.5%

注 2017年第3四半期のCRR/CRD4段階的導入ベースによる普通株式等Tier 1資本比率は14.6%でした。

1 2017年第2四半期の数値は試算値:4月上旬に完了した資本増強の手取金額を含む。

部門別業績

コーポレート・アンド・インベストメント・バンク (CIB)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2017年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減 (2016年第3四半期比)	増減 (2017年第2四半期比)
純収益	3,468	4,532	(1,064)	(150)
信用リスク引当金繰入額	(94)	(208)	114	(38)
利息以外の費用	(3,011)	(3,333)	322	(10)
非支配持分	(2)	(22)	20	17
税引前利益	361	969	(608)	(182)
RWA(単位:十億ユーロ)	242	246	(4)	(0)

プライベート・アンド・コマーシャル・バンク (PCB)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2017年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減 (2016年第3四半期比)	増減 (2017年第2四半期比)
純収益	2,602	2,520	82	43
信用リスク引当金繰入額	(90)	(102)	12	(67)
利息以外の費用	(2,179)	(2,231)	52	49
非支配持分	(1)	(0)	(1)	(2)
税引前利益	332	187	145	22
RWA(単位:十億ユーロ)	89	93	(5)	0

ドイチェ・アセット・マネジメント (Deutsche AM)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2017年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減 (2016年第3四半期比)	増減 (2017年第2四半期比)
純収益	628	821	(193)	(48)
アビー・ライブを除いた純収益 ¹	628	627	1	(48)
信用リスク引当金繰入額	0	(0)	0	(0)
利息以外の費用	(433)	(606)	173	8
アビー・ライブを除いた利息以外の費用 ¹	(433)	(439)	6	8
非支配持分	(0)	(0)	(0)	1
税引前利益	195	215	(20)	(39)
RWA(単位:十億ユーロ)	10	13	(4)	1

1 保険契約のポジションに係る時価の変動を除いた純収益。保険業務に係る費用を除いた利息以外の費用。

2017年第3四半期の補足財務データ(英文)は<https://www.db.com/ir/en/quarterly-results.htm>より入手可能です。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、事業法人、各国政府、機関投資家、中小企業、および個人といった顧客に対し、商業銀行、投資銀行、リテール・バンキング、トランザクション・バンキング、および資産運用の商品ならびにサービスを提供しています。ドイツ銀行はドイツ有数の銀行であり、欧州地域に強固な地位を築いているほか、米州およびアジア・廃兵用地域においても大規模な事業基盤を有しています。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想、およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2017年3月20日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。

本リリースには、IFRSに準拠しない財務情報が含まれています。本リリースに記載のないIFRSに基づく数字との比較には、補足財務データをご参照ください。